

平成 28 年度冬期地区交流会報告

今年も、「焼肉ビジネスフェア」の開催に併せて、2017 年 1 月 17 日（火）に東北・関東・甲信越地区を皮切りに、全国 5 地区での交流会が行われました。

東北・関東・甲信越地区交流会は例年通り、焼肉ビジネスフェア開催前日ということもあり、過去最高の参加人数の 133 名の参加がありました。

全国では、正会員延べ 140 名、賛助会員延べ 342 名、スタッフその他も含めて、490 名の参加となりました。

各地区を代表する協会副会長や理事による開会宣言で交流会をスタートしました。

協会会長でなべしまホールディングス株式会社の山口社長より、今期の協会活動報告や業界動向等、業界発展に向けての挨拶がありました。

懇親会の開催店主挨拶後、且専務理事より JY 情勢報告として、JF（一般社団法人日本フードサービス協会）の会員売上動向、国産牛の牛飼養頭数減少傾向の推移及び牛肉価格状況の説明があり、また牛肉の昨年輸入実績やトランプ大統領の TPP 離脱署名による今後の影響等についても見解が出されました。

次に、今年度新規実施した「焼肉協会の検定試験」の結果及び今後の運営について、田中担当理事より案内がありました。

続いて新規賛助会員 2 社による提案が行われました。

- ① 株式会社サティスファクトリー 『ゴミについて真剣に考えてみませんか?』と題して廃棄物マネジメントについての案内
- ② 株式会社セブン銀行 『経営者必見これで売上管理がラクになる』としてコンビニ活用の貸金庫業務の提案

また、恒例になっている賛助会員による PR タイムでは、年々参加の増える賛助会員の数の問題もあり、かなり短時間での紹介、案内となってしまいましたが、シンプルでかえって良い PR となったような気がしました。

また、司会の實川監事の提案で、交流会に初めて参加された正会員を中心に自己紹介をして頂き、通常の交流会では聞き役に回る事の多い皆様にマイクを持っていただきました。

懇親会では、開催店からの興味ある新メニューなどの提供がなされ、会員間での情報交換等で結構な盛り上がりとなりました。

皆様、今年度の地区交流会にご参加頂きまして誠にありがとうございました。